

新連載

\\ 先生 //

日本専門医機構 認定専門医制度 について 聞かせてください！

編集

神戸大学大学院医学研究科
放射線診断学分野
村上卓道

● 総 説 ●

2020年3月末ごろに、メジカルビュー社から日本専門医機構(以下、機構)が認定する専門医制度について、わかりやすい解説を連載で執筆してほしいと依頼を受けた。機構認定の専門医制度がわかりにくいとの声が若手の先生に多いことから、この企画を立てられたとのことであった。新しい専門医制度は機構からの要求に応えられるように、日本医学放射線学会の理事や専門医制度委員会メンバーが多く時間を割いて制度設計をしてきた。しかし機構自体が、異なる診療領域からの代表者が集まり統一方針を出すことの難しさや、地域医療体制への影響を懸念する声への対応で方向性が大きく揺れ動いたため、早急に決めるべき内容も決定までに時間がかかってしまい、学会側の対応に時間的余裕がなく、学会員への周知期間も十分に取れないといった問題を生じた。現在でも機構認定単位を取るための講習会開催やe-learningの認定の可否などで流動的な部分があるが、ほぼ基本領域である放射線科専門医に関しては制度が安定してきたと思う。

ただ、放射線診断・治療専門医といったサブスペシャリティの専門医認定に関しては、機構、学会間でいまだ議論中であり、従来の学会認定を平行して行っている状態である。2021年3月末には、機構認定基本領域研修での修了者が出てくるため、機構は2021年4月に機構認定サブスペシャリティ研修をスタートする準備をしていた。しかし、今回の新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で、十分な議論ができず、機構認定のサブスペシャリティ研修は1年間延期されることになった。すなわち、来年の4月からの放射線科診断専門医、あるいは放射線治療専門医の研修は学会認定の形でスタートし、機構認定の制度が定まった後に、この学会認定の研修部分を遡って機構認定の研修として認める、との方向になりそうである。

ともかく、放射線学会会員が基本領域の放射線科専門医取得、学会認定からの移行、そして更新を少しでもスムーズにできるように、いろいろな媒体で新しい専門医制度の解説を広めることができればと思い、この企画を受けさせていただいた。

この連載では、第1回で筆者が「現在の学会認定専門医から機構認定専門医へ更新するにはどうすればいいのか」を解説し、第2回では学会の専門医制度特任理事の獨協医科大学の楢 靖先生に「専門医取得までの流れ」を解説いただき、第3回では学会の専門医制度委員会の新委員長である東北大学の高瀬 圭先生から「専門医資格取得に必要な単位取得について」解説いただく。そして第4回では、読者の方々から寄せられた質問に筆者たち3名で返答させていただくという企画になっている。

従来の専門医制度は、専門医制度を運用する学会が乱立し、個々の認定基準が異なり、国民にわかりにくいとの非難があった。機構認定の専門医とは、患者に信頼され、標準的な医療を提供でき、受診のよい指標になる制度であり、専門医が「公の資格」として国民に広く認知されて評価される制度を目指している。制度の説明をよく読めば、専門医取得、更新は決して難しくはない。

本稿が制度の理解につながれば幸いである。

村上卓道